

## 農業での「光の波長変換フィルム」有効利用の可能性を探る



被覆資材フィルムは安定・高収益性に不可欠な農業生産資材であり、植物生育に必要とされる光の透過性、保温性・耐寒性、あるいは展張しやすさ・耐久性などの農業に求められる機能と低コスト製品の安定供給が求められている。

北海道大学工学研究院で開発された「波長変換フィルム」は、太陽光が植物に被害をもたらす紫外線を吸収して、この紫外線を赤色光、青色光等に変換できるので植物の光合成を活発にすることが期待される。あるいは、紫外線光を近赤外線に変換すれば、冬期間において施設の暖房効果が期待されるなど多くの可能性が示唆される注目すべき技術である。

そこで、太陽光を利用する工学技術シーズ「光の波長変換フィルム」を取り上げ、農業用の被覆資材等として有効利用の可能性を探る農工連携ワークショップを開催する。



主 催：NPO 法人グリーンテクノバンク

共 催：ロバスト農林水産工学「科学技術先導研究会」（北大農学・工学・水産学研究院）

後 援（予定）：北海道開発局、北海道経済産業局、北海道、北海道協同組合通信社、  
北海道農業改良普及協会

日 時：平成 29 年 12 月 4 日(月) 午後 1 時～5 時

場 所：北農ビル 19 階 2、3、4 号会議室（札幌市中央区北 4 条西 1 丁目）

参加料：無料

次 第：

開会挨拶 NPO 法人グリーンテクノバンク 会長理事 横田 篤 13:00  
(北海道大学大学院 農学研究院長)

1) 基調講演 施設園芸事業における光フィルム利用の課題 13:05～13:45  
農研機構 野菜花き研究部門 企画管理部企画連携室 浜本 浩 氏

2) 講演

(1) 「光の波長変換フィルム」の特性と活用 13:45～14:30  
北海道大学大学院工学研究院 教授 長谷川靖哉 氏

(2) 施設園芸におけるフィルム等新技術導入における課題と期待 14:30～15:05  
(有)アドワン・ファーム 社長 宮本有也 氏

(3) 資材メーカーにおける光フィルムの開発実績と今後の展開 15:05～15:40  
AGC グリーンテック株式会社 社長 安井一郎 氏

\*\*\*\*\* 休 憩 \*\*\*\*\*

3) パネルディスカッション 15:50～17:00  
農業における「光の波長変換フィルム」活用の可能性と課題  
ファシリテーター 北海道大学農学研究院 准教授 鈴木 卓 氏

〇申込：1) 氏名、2) 所属・職、3) 電話番号、4) 演者を交えた交流会（終了後の名刺交換会を兼ねる。会費あり）への参加希望の有無を明記してメールで、11 月 20 日までに申し込み

〇連絡先：NPO 法人グリーンテクノバンク（事務局長 折登）gtbh@almond.ocn.ne.jp

札幌市中央区北 2 条西 1 丁目 10 番地ピア 2・1 5 階 電話 011-210-4477